



西方小学校では、昨年度より西方地区の他の2校と連携して道徳教育の研究を進めています。研究の成果の発表として10月27日（金）には、公開研究発表会を開きました。栃木市内より50名を超える参観者の方にお越しいただきました。研究の概要の説明をした後、2年1組と6年2組で公開研究授業を行いました。その後授業研究会を開きました。そして道徳の時間の授業改善について研究を深めました。この授業の様子を紹介いたします。

主題名 資料名 指導内容	（2年生の授業） たいせつないのち 「いのちを大切に」（文部科学省） 生命尊重	（6年生の授業） 相手を思いやり、親切に 「心と心のあく手」（文部科学省） 思いやり・親切
--------------------	--	--

授業の様子



人の手のぬくもりを感じる体験をしています。



聴診器で心臓の音を聞く体験をしています。読み物資料は使わずに、児童は体験をとおして、たいせつないのちについて深く考えました。



本音で伝え合う工夫として3人組で意見を交流しています。



学級全体で話し合いをして、意見を合して、児童はよりよい親切について深く考えました。そして、これからどうしていきたいかノートにまとめました。

授業研究会では多くの先生方からご意見をいただくことができました。それらを生かして今後も道徳教育を推進し、児童の心の成長を図っていきたいと思います。

